

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

事務事業評価表（公共施設）

1 事業名	都市公園管理事業		コード	153201		
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者	宮澤 光弘
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち			
		政策	都市空間の充実	施策	都市緑化の推進	
		予算科目	都市公園管理総務費・都市公園維持補修費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
	設置条例	岡谷市都市公園条例				

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的

*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要 (簡潔に)	都市公園の利用者に、安全で快適に利用していただくため施設の適正な維持管理や老朽施設の改修、修繕等を行う。また、一層の利用促進を図る。
目的	対象者 市民
	意図 都市公園を安全、安心に利用していただく。

5 施設の管理運営状況

指定管理者	公益財団法人 おかや文化振興事業団	25年度指定管理料	83,633,000 円
施設における通常業務	市内19都市公園の内3公園を指定管理者が、残り16公園を市が直接管理を行った。 管理内容 ・施設維持管理及び修繕、改修 ・使用料の徴収 ・指定管理者による誘客等自主事業の実施		
事業の実施内容	(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など) ・公園施設の維持管理と有料施設の運営管理を市民ニーズに対応しながら実施した。 ・やまびこ公園では、プリンス&スカイラインミュージアムの開館や、やまびこフェスティバル等を実施し誘客に努めた。		
前年度の課題への対応	来園者が安全で安心して利用できるよう公園施設長寿命化計画を基に施設の点検、改修等を行った。		

6 施設の利用状況

*②・③はどちらかの欄に記入

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	0.0%	0.0%	0.0%	
年間開設日数（日）	186	192	187	183
1日の開設時間（時間）	8	8	8	8
年間利用可能時間（時間）	1,488	1,536	1,496	1,464
年間利用実績（時間）				
② 年間利用者数（人）	137,400	136,975	149,326	135,000
有料利用者数	15,669	15,169	15,446	135,000
無料利用者数	120,279	120,336	131,153	0
減免措置者数	1,452	1,470	2,727	0
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	738.7	713.4	798.5	737.7
⑤ 施設利用状況の説明	鳥居平やまびこ公園、塩嶺御野立公園、鶴峯会館の利用者数を計上した。			

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	108,636,182	107,976,345	109,598,158	108,947,000
経常経費	107,236,229	107,799,925	109,451,253	108,733,000
臨時的経費	1,399,953	176,420	146,905	214,000
* 臨時的経費の説明	塩嶺閣の軽トラック車検手数料、自動車損害保険料、重量税及び備品購入費を計上した。			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000
正規職員の人数(人)	1.55	1.55	1.55	1.55
③ 合計コスト(①+②)	121,036,182	120,376,345	121,998,158	121,347,000
前年度比		99.5%	101.3%	99.5%
財源	112,836,046	114,233,940	115,323,108	111,286,000
一般財源				
内訳	8,200,136	6,142,405	6,675,050	10,061,000
特定財源				
* 特定財源の説明	公園施設使用料等			
④ 施設使用料年間収入額	6,861,950	6,142,405	6,675,050	10,061,000
⑤ 年間減免措置額	801,450	540,500	559,450	550,000
⑥ 受益者負担割合	7.1%	6.2%	6.6%	9.7%
⑦ 活動一単位あたりコスト	871	878	816	
前年度比		100.8%	93.0%	
⑧ コストに関する補足説明	近隣に遊戯施設があり、年間使用料が減少した。			

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 111.9%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 108.7%	

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) ・来園者が安全で安心して利用できるための公園施設の維持管理費の増大。 ・やまびこ公園内、車移動の要望及び来園者の増加。
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・公園施設長寿命化計画に基づく施設の定期的な点検、改修等の実施。 ・大規模な改修、更新は都市公園整備事業費としての対応。 ・公園内の歩車分離実施、遠路の改修等の実施。
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---

13 大規模修繕の予定

	予定事業費	円	予定時期	
内容				